

ウスバシロチョウの分布調査 I

永幡嘉之

高校生の頃の私の標本箱の中に、興味を引いてやまないウスバシロチョウがいた。村岡町和佐父のメス。真っ黒なのである。一方、美方町大谷のメスは黄色っぽい。当時豊岡におられた近藤伸一氏から頂いたものだったが、但馬のウスバシロチョウにはこんなものがあるのか、いちど自分で調べてみたい、ずっとそう思っていた。しばらく暮らす場所として、私が鳥取を選んだ理由の60パーセントは美方郡のウスバシロチョウで占められていると言っても過言ではない。

だから、最初の年は特にウスバシロチョウに熱を上げた。

但馬西部の美方郡内に的を絞り、とりあえず現段階での分布の状況を把握しようという目標を立てたが、美方郡といっても広いので、毎年このようにしてデータを蓄積した上で、何年か先を目度に分布についてまとまった報告を出すつもりでいる。

兵庫県では過去の文献上において、採集された地点は分かるが、採集されていない地点と未調査地点とは区別がつかなかった。そこで、本種の分布の拡大が全国的に注目されているなかで、より正確な分布状況を知るために、「調査はしたが発見できなかった産地」も記すことにした。ただ、決して「いない」ではなく、調査時間帯や時期、天候など様々な要因がからんでたまたま見られないことも多いと考えられるので、「発見できない」という表現を使った。すぐに利用できるとは考えていないが、いつか何かの役に立つかもしれない。個体数や細かい活動場所などは、日によって、あるいは午前と午後だけでも大きく違っているので、今回は書くことができなかった。

調査結果を水系別に記す。記録はすべて1991年である。

1. 久斗川流域 18-V

浜坂町正法庵 (1 ♂) 大滝 (2 ♂) 境 (1 ♂ 1 ♀) 池ヶ平 (5 ♂ 1 ♀)
久斗山 (3 ♂)

対田～久斗山の久斗川沿いを見たが、藤尾で目撃したほかは上記以外では発見できなかった。

2. 岸田川流域 10-V

浜坂町用土 (2 ♂) 温泉町金屋口 (5 ♂) 井土 (3 ♂) 八日市 (3 ♂)

他に田君, 後山, 高山, 数久谷, 今岡, 仁連寺を調査したが, まだ時期が早かったようで発見できなかった. 後日, 温泉町湯谷 (19-V), 春来 (19-V) (24-V) で目撃.

3. 矢田川流域

村岡町丸味 (3 ♂ 1 ♀, 19-V) 長板 (1 ♂, 19-V)

美方町神水 (3 ♂ 1 ♀, 19-V) 大谷 (3 ♂, 19-V) 久須部 (1 ♂ 1 ♀, 24-V) 忠宮 (3 ♂, 19-V) 貫田 (5 ♂ 2 ♀, 19-V) (1 ♀, 24-V)

東垣 (3 ♂ 2 ♀, 19-V) (1 ♂ 1 ♀, 24-V) 鍛冶屋 (3 ♂ 1 ♀, 24-V)

佐坊 (3 ♂ 1 ♀, 24-V) 秋岡 (3 ♂ 1 ♀, 19-V) 新屋 (3 ♂ 1 ♀, 24-V)

茅野 (1 ♂, 24-V) 平野 (1 ♂ 1 ♀, 24-V) 実山 (1 ♂, 24-V)

野間谷 (3 ♂, 24-V) 広井 (2 ♂, 19-V)

他に, 美方町城山 (19-V) (24-V), 石寺 (24-V) で目撃した.

この年の調査はすべて自転車だった. なかでも5月19日と24日の2度にわたる美方町の調査は思い出深い. 19日は前夜黒井氏宅に泊めていただき, 帰りは長板から雨のなかを浜坂まで走った. 24日は鳥取を5:30の始発で発ち, 調査の後は相岡を越えて帰ったのである. 浜坂駅で, ふと鏡の中に血走った眼とひとまわりやせた自分を発見した. 行動範囲は限られていたし, 採った虫も少ないけれども, 車に頼る今よりもはるかに1日が充実していて, 満足感も比べものにならないほど大きかったように思う.

<特に強く影響を受けた文献を紹介しておく>

高橋真弓 (1989) 小山町および御殿場市におけるウスバシロチョウの調査,

駿河の昆虫 146 : 4189-4193.